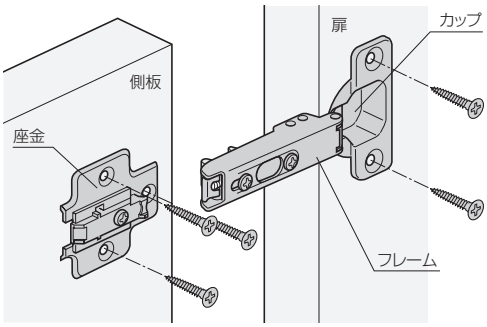
施工ガイド

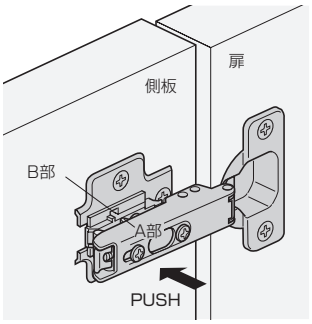
●適応機種：CRT100°・CR150°・NTR105°・W100°

①
「座金取付寸法図」より座金の取付位置を求め、座金を側板に取付けます。

「本体取付寸法図」よりカップの取付位置を決定し、カップ掘込加工を実施した後、丁番本体のカップを取付けます。



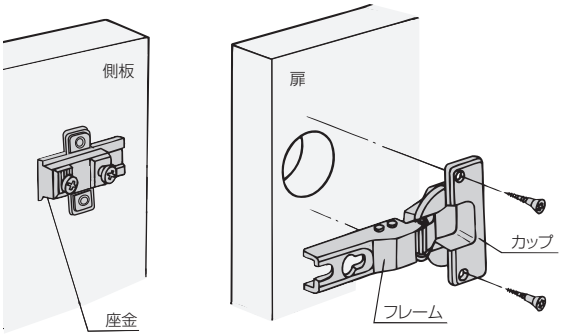
②
A部案内突起（フレーム中央部）を、B部係合穴（座金中央部）に挿入し、フレームを座金に押しつければ取付完了です（W100°シリーズはフレーム前部の爪を座金に引掛け、フレーム後部を押さえます）。
※扉調整方法は下記をご参照ください。



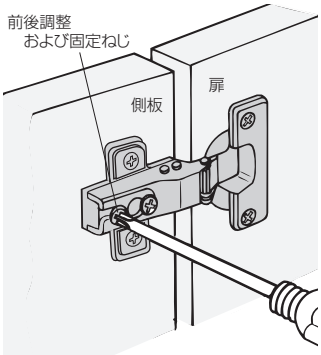
●適応機種：C105°・DT90°・DT105°

①
「座金取付寸法図」より座金の取付位置を求め、座金を側板に取付けます。

「本体取付寸法図」よりカップの取付位置を決定し、カップ掘込加工を実施した後、丁番本体のカップを取付けます。



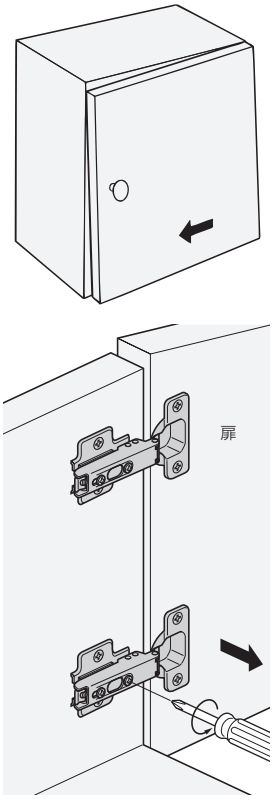
②
扉の前後の位置を合わせ、前後調整および固定ねじを締めつけて扉を側板に取付けます。
※扉調整方法は、下記をご参照ください。



■扉の調整例

扉の傾き調整

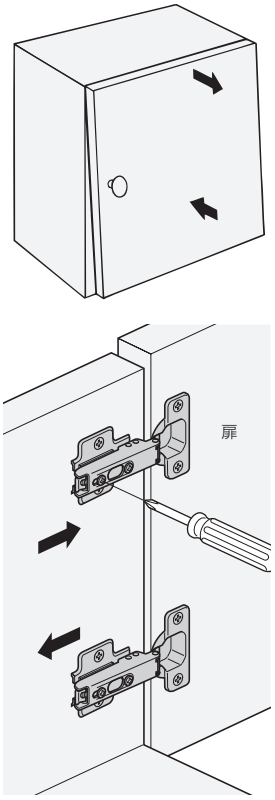
例えば、図のように扉が左下に傾いてしまった場合。



下側スライド丁番の「左右調整ねじ」を左に回して、扉が矢印の方向に寄るように調整してください（W100°シリーズは「左右調整ねじ」を右に回してください）。

扉と側板の隙間調整

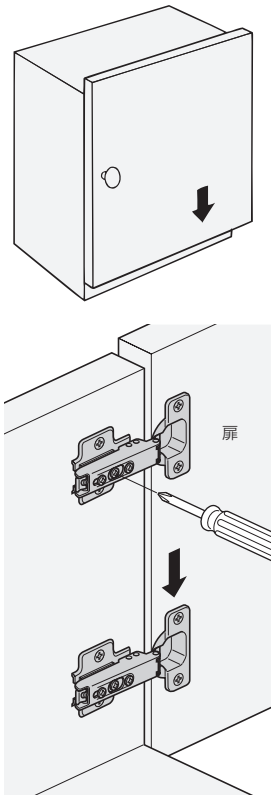
例えば、図のように扉とキャビネットの隙間が上下で異なってしまった場合。



スライド丁番の「前後調整および固定ねじ」をゆるめると、丁番本体を前後にスライドさせることができます。調整後は、「前後調整および固定ねじ」を締めつけて固定します（W100°シリーズは「前後調整ねじ」を回して調整してください）。

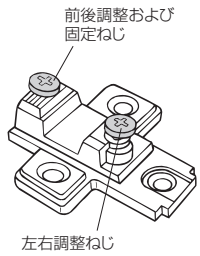
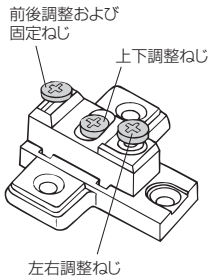
扉の上下調整 ※3方向調整用の座金のみ可能です。

例えば、図のようにキャビネットに対して扉が上がってしまった場合。



上下両方のスライド丁番の「上下調整ねじ」をゆるめると、扉を下げることができます。調整後は、「上下調整ねじ」を締めつけて固定します（DT90°、DT105°、W100°のWL32系の座金は、座金の長穴で上下調整をし、WK32系の座金は「上下調整ねじ」を回して上下調整してください）。

●2方向調整
扉の上下調整はできません。



●3方向調整